

「事業名：福島復興知学の深化と展開：ミルフィーユ型人材の育成基盤構築」

東京大学（共同申請：福島工業高等専門学校、連携：福島大学、早稲田大学）

連携市町村：いわき市、大熊町、広野町、葛尾村、富岡町、楡葉町、

現地拠点：楡葉町コミュニティーセンター内、広野町文化交流施設ひろの未来館内、広野町下北迫大谷地原65-3ニツ沼総合公園パークギャラリー内、いわき市平上荒川字長尾30 福島工業高等専門学校内、

事業のポイント

復興知とイノベーション・コースト構想の推進に必要な多層的な知識・技能を身につけた人材を「ミルフィーユ型人材」とし、自治体・大学等・企業等と連携してミルフィーユ型人材を育成する。さらに、ミルフィーユ型人材育成を通じて、産業創出や国際的情報発信も行う。

人材育成目標

【地域を担う未来人材の育成基盤構築】

各ライフステージに応じた多層的教育を経て真の復興を担える多様性ある人材を育成する。

【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を支える人材の育成基盤構築】

浜通りでの「まなび」をもとに学術文化を推進し、世界に情報発信できる人材を育成する。

2023年度の活動内容

【地域の創造的復興を担う人材の育成基盤構築】

- ・科学教室、市民講演会、企業向けセミナー、自治体向けに各種セミナー等を実施。
- ・連携する自治体・施設・企業等と協力して、ミュージアム事業と国際会議等を実施。

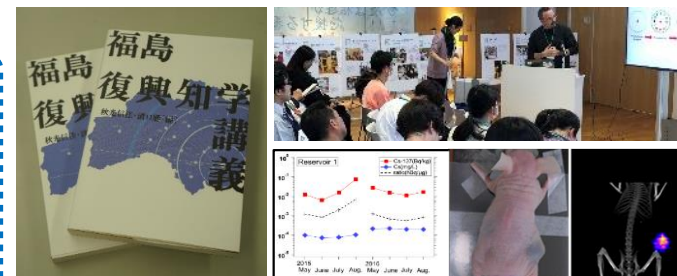
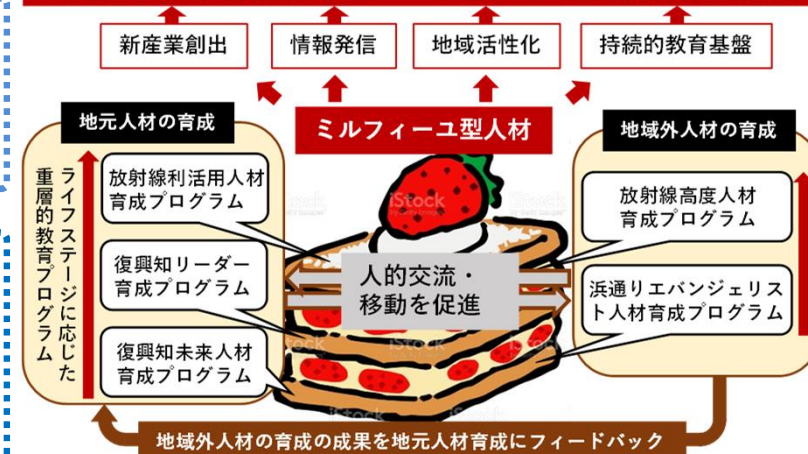
【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を支える人材の育成基盤構築】

- ・東京大学、福島高専で復興知教育プログラムを実施。自治体・企業へ放射線教育の提供。
- ・連携する自治体・施設等に大学生等を50名程度引率し、フィールド学習と地域交流を実施。
- ・放射線に関する卓越した教育研究を実施して国際的に情報発信。製品化研究も実施して産業育成。

取り組みによって得られる成果

- ・多層的な知識と技能を身につけて地域の発展に貢献できるミルフィーユ型人材が育成される。
- ・「福島らしい」新しい学術文化を創造し、面的な地域活性化・魅力と価値創造に貢献する。
- ・「福島ならではの」卓越した教育・先端研究を実施し、復興知事業を国際的に情報発信できる。

「福島ならではの」の人材によるイノベーション・コースト構想の持続的発展



地域と大学等の人材育成基盤の構築と国際的情報発信



自治体・地元施設等と連携した人材育成と地域活性化